

松田町における伐採木を利用した木質バイオマス資源の有効活用に向けた取り組みについて

2022年3月29日
東京電力パワーグリッド株式会社
小田原支社

当社は、森林保全やエネルギーの地産地消、地球温暖化対策に向けた地域創成を目的とした「松田町木質バイオマス利用促進事業における地域資源有効活用に関する三者覚書」を、松田町、特定非営利活動法人^{ろうく}（以下、「NPO 法人^{ろうく}」）と、本日、締結しましたので、お知らせいたします。

当社は、電気設備の保安目的、樹木倒壊などで電力供給に支障をきたした樹木を緊急的に伐採するなどの予防伐採を進めており、これらにより小田原支社管轄エリア内で発生する伐採木の量は、年間約200トンになることから、松田町とともに、産業廃棄物となる伐採木を資源として有効活用できる方法について検討してまいりました。

本日締結した覚書により、当社が伐採した伐採木は、松田町から薪製造業者として選定されたNPO法人^{ろうく}で木質バイオマス燃料に加工され、その後、松田町が運営する温泉施設でボイラー燃料として使用されます。

当社は引き続き、今回の取り組みを他の自治体でも水平展開するなど、森林保全やエネルギーの地産地消、地球温暖化対策に向けた地域創成の実現に向けた検討を進めてまいります。

1. 締結日

2022年3月29日

2. 覚書の概要

電力事業で伐採・廃棄していた伐採木を、薪製造事業者である^{ろうく}を経由して松田町に供給。松田町内の温泉施設（健康福祉センター「健楽の湯」）に設置した木質バイオマスボイラーで木質バイオマス燃料として使用する。

以上

＜ 本件に関するお問い合わせ先 ＞
東京電力パワーグリッド株式会社 小田原支社
連絡先 0465-24-4461

松田町における伐採木を利用した木質バイオマス資源の有効活用に向けた取組



- 松田町の温泉施設（健楽の湯）に設置されている**木質バイオマスボイラー燃料に当社の伐採木(廃棄物→有価物)を活用**するスキームを構築 ※当社から松田町長へのご提案で具現化
- ➡ **この度松田町・NPO法人「仂」と覚書締結**
- 【当社の狙い】**SDGsの取組みの一環として取組み開始**，伐採木の有効活用，地域循環型社会(地方創生)の実現を目指す
- 【スケジュール】まずは、変電所内の伐採木から始め、配電予防伐採からのバイオマス燃料活用という**全体スキームとその事業性を検証**
- 今後の事業拡大を見据え、保安伐採に加え、**予防伐採のスキーム構築を各自治体と検討**
- ➡ **ナラ枯れ危険木対策**は現在、当社サービスエリア共通課題

